



根室市漁船員永年勤続者表彰式 水産業に従事し、地域産業の振興に貢献した4人の乗組員の方々に対して、表彰状と記念品が贈られました。(2月25日：総合文化会館)



根室市スプリント水泳大会 幼児から高校生まで150人が参加し開催された本大会では、日ごろの練習成果が発揮され、23もの新記録が誕生しました。(3月8日：温水プール)



北方少年少女交流事業 北方領土返還要求運動の後継者育成を目的に、滋賀県の中学生と地元中学生の北方領土学習や交流会が行われました。(3月25日～28日：納沙布岬)



第4回HACCPフェア 基幹産業である漁業・水産加工業の理解を深めてもらうため、市内高校生による料理体験実習が開催されました。(3月28日：総合文化会館)

春国岱原生野鳥公園
ネイチャーセンター

NCC

〒086-0074
根室市東梅103番地
☎25-3047

ばんに膨らんだ風船がパチンとはじけるように、一気に春が広がっていきます。草原ではヒバリが「ピリリリ…」とにぎやかにさえずり、森からは、「ドロドロ…」とキツツキのドラミングの力強い音が聞こえてきます。林では、シジュウカラやゴジュウカラがあちらこちらに飛び回って、せっせと巣材を集め始めます。下旬になると、次々と夏鳥が渡って来ます。南からやって来たルリビタキやノビタキなどが元気にさえずります。干潟ではシギ・チドリの仲間が、波と追いかけてするようにエサを探し、風蓮湖・春国岱のにぎわいがピークを迎えます。そして、初夏が近づくにつれて、冬鳥や旅鳥たちは姿を消していきます。

「生きものがにぎわう風蓮湖・春国岱」

フクジュソウが黄色い花をつけ始める3月中旬、静かだった風蓮湖・春国岱に少しずつにぎわいが戻ってきます。一番早く風蓮湖に姿を現すのは、オオハクチョウやカモの仲間です。シベリアで子育てをする彼らは、夏鳥よりも一足早く風蓮湖を訪れ、旅の疲れを癒すとともに栄養をたっぷり補って、さらなる旅に備えます。次に、風蓮湖にやってくるのはタンチョウです。無事厳しい冬を乗り切ったタンチョウは、また新しい命をはぐくむため、湿原に生えるヨシで巣をつくり始めます。

4月中旬、タンチョウが子育てを始めるころ、ばん

さまざまな鳥が入れ代わり立ち代りやってくる春の風蓮湖・春国岱は、生きものたちのエネルギーで満ち溢れています。

(レンジャー 富岡 優子)